

技術選定のためのガイドブック目次案

| 章、項目 | 執筆担当 | 内容 |
|---------------------------------|------------------------|--|
| 第1章 トイレ整備・改善の意義 | 事務局 | 本ガイドブックで選定ができるし尿処理技術のタイプの解説。 上下水道や商用電力などのインフラ整備が不十分な地域や、浄化槽の処理水の放流先がない自然地域において、トイレを整備・改善することの意義について解説。トイレ整備による改善事例や不具合がある事例などについても触れ、その要因を把握する。 |
| 第2章 自然地域トイレし尿処理技術の概論 | 河村 検討員 | 自然地域トイレし尿処理の技術とはどのような技術を指すか、実証事業の経緯や第三者が技術実証を行うことの有効性について解説。 |
| 第3章 各技術タイプの特徴 | 桜井 検討員 | 自然地域トイレし尿処理技術の分類と特徴や性能を解説。 本技術分野での対象技術と対象とはならないものの、自然地域で利用されているトイレし尿処理技術にも触れる |
| | 岡城 検討員 | 技術導入の際の留意点等、実証試験事例をもとに要点を解説。 |
| 第4章 整備・改善にあたっての検討フローと諸条件について | 事務局 全員 | 自然地域トイレし尿処理技術の整備・改善に向け、どのような手順で検討を進めるべきかを解説。 自然条件、インフラ等社会条件（電気、水、物資輸送） 利用条件（利用変動対策） 管理条件（維持管理） 等導入の際に考慮すべき内容を解説。 |
| 第5章 自然エネルギーの留意点 | 木村 検討員 | 山岳地等商用電力の確保が難しい地域において、自然エネルギー利用は有効な手段である。しかし、現状ではトイレ技術と自然エネルギー技術の組み合わせ方法や設計に関する情報が不足している。自然エネルギーの適用可能性と導入の留意点を解説。 |
| 第6章 設備設計の視点からの留意点 | 相野谷 検討員 | トイレを導入する際は処理技術だけではなく、冬季閉鎖、負荷変動対策、メンテナンス性の考慮、建物、エネルギー等、トータルな視点からシステムとして検討する必要があることを、設備設計の視点から解説。 |
| 第7章 トイレ維持管理の重要性 | 穂苅 検討員 吉田 検討員 | トイレ技術を良好な状態で性能を発揮するためには、維持管理が重要である。技術導入後において重要な役割を担う維持管理要領書について、試験要領に記載されている確認項目等、維持管理要領書の確認のポイントを解説。し尿処理後には、汚泥の処理・処分などの廃棄物処理の面についても触れる。また、維持管理体制について、行政と民間の協力のあり方を事例から紹介。 |
| 第8章 実証事例紹介 | 事務局 | 実証済技術の紹介（「実証」の定義の解説を含む） 経年実証試験の情報 実証試験後の技術改良等の状況 |

内容に関する問合せ先 実証運営機関（特定非営利活動法人山のECHO）